

【3年生】

	児童の現状の分析	授業改善の方針
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主語述語を意識して文章を書くことができない児童がいる。</li> <li>○思いや考えを自分の言葉で伝えることが苦手な児童もいる。</li> <li>○語彙の習得に差がある。</li> <li>○音読や読書にすすんで取り組む児童が多い。</li> <li>○漢字の定着に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ポプラタイムを活用して、主語・述語、修飾語、助詞などの言語事項について、繰り返し指導し、係り受けの関係を意識できるようにさせる。</li> <li>○視写をくり返すことにより、文章を読むこと書くことの力をつけていく。</li> <li>○スピーチや作文の指導時間を意図的に取り、話す力や書く力を高めていく。</li> <li>○少人数での話し合い活動やタブレットでの交流などを行い、苦手な児童も安心して表現し学び合えるようにする。</li> <li>○教科書等で新しい言葉にであったときには国語辞典で調べさせるようにし、語彙の習得をすすめていく。</li> <li>○家庭学習での音読、読書タイムでの読書活動を通して、読みの力を高めていく。</li> <li>○漢字学習を繰り返し実施したり、文の中で使えるように意図的に取りませたりする。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の人々の暮らしについて調べる学習ではすすんで取り組むことができる。</li> <li>○資料から情報を読み取ることが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べ学習の成果を、絵地図や新聞等にまとめることで、知識を確かなものとしていく。</li> <li>○学習する中で疑問に思ったことをタブレットで調べ、理解を深める。</li> <li>○資料を読み取る際の手順をくり返し指導する。また、読み取った内容がどんな事象と関わっているのか、関連付けて理解できるよう丁寧に指導する。</li> <li>○用語の意味が正しく理解できるよう、国語辞典で調べたり言葉を言い換えたりさせる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○繰り上がりのある足し算や繰り下がりのある引き算や九九などの基礎的な計算は概ねできるが、個人差が大きい。</li> <li>○量の単位、時間の単位に関する理解が十分ではなく、知識が定着していない。</li> <li>○問題場面を図に表すなど論理的に考える力が乏しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的な計算に繰り返し取り組んだり、ベーシックドリルを活用したりして更なる定着を図る。</li> <li>○数学的活動を通して、問題の意味を捉えやすくしたり、量感を養ったりしていく。また、日常的な活動の中でかさや長さの単位学習を取り入れ、理解を深める。</li> <li>○時刻や時間を求める際に、模型時計や数直線、式などを使って時間の動きを感覚的に捉えることだけでなく仕組みを考え、求め方を考える力を育てる。</li> <li>○文脈どおりに数量の関係を図（線分図・数直線など）に表したり、立式したり、未知数の求め方を説明したりする数学的活動を</li> </ul>

		通して、数量の関係を明確に捉えられるようにしていく。
理科	<p>○植物を観察したり生き物を育てたりする活動を通して、動植物に関心をもつ児童が多い。</p> <p>○観察や実験の結果から、考察や結果のまとめを自分の言葉で表現することが難しい。</p>	<p>○観察や実験等、科学的事象と関わる機会を十分にとり、科学的思考の素地を作る。</p> <p>○昆虫の観察など直接体験することが難しいものに関しては、ICTを活用し擬似的に体験できるようにする。</p> <p>○観察・実験をするときは、観察の視点・実験のねらいを明確にして行い、結果から考えられることを自分の言葉で表現することができるようにしていく。</p> <p>○問題→予想→実験→結果→まとめ・ふり返りの学習の流れを繰り返すことで、科学的な思考を養う。</p>
音楽	<p>○音楽的活動が好きで、すすんで活動する児童が多い。</p> <p>○課題を諦めずに取り組む児童が増えてきた。</p> <p>○読譜力の差が大きい。正確に楽譜を追っていける児童が少ない。</p>	<p>○児童にとってわかりやすく、意欲的に取り組めるような教材を工夫する。</p> <p>○頑張っている部分をその都度褒め、更に高い目標をもてるように指導する。</p> <p>○楽譜の仕組みについて、丁寧に指導し、読譜力を身に付けさせる。</p>
図工	<p>○既習の技能を活用できている児童がいる一方、学んだ知識、技能を忘れてしまう、あるいは活用できない児童がいる。</p> <p>○自分の表したいイメージをもつことに難しさを感じている児童がいる。</p>	<p>○活用を想定される技能については随時復習の時間を設ける。また、自ら考え、既習を生かして活動している児童の姿を認め、評価する。</p> <p>○イメージをもつための手立てやきっかけを提示できるように教材研究を深めるとともに、図工室内に児童の関心を高められるような図書や資料を充実させる。</p>
体育	<p>○すすんで運動しようとする児童が多い。</p> <p>○生活や遊びの中での経験に差があり、技能差がある。</p> <p>○感染症対策により体を動かす機会が減ったこともあり、体力が低下している児童もいる。</p>	<p>○場や行い方（ルール）を十分に理解させ、経験や技能に差があっても楽しめるように工夫する。</p> <p>○タブレットを活用し、自らの動きを確認できるようにする。</p> <p>○学習カードを活用し、運動の仕方や作戦を意識して活動できるようにする。</p> <p>○意識的に各部位を動かすよう、十分に準備運動を行うとともに、主活動の運動量の確保に努める。</p>
道徳	<p>○自分の行動をふり返って考えたり、相手の立場に立って考えたりできる児童が多い。</p>	<p>○意見交流や対話の時間を十分に確保し、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。</p> <p>○タブレットを活用し全体で意見交流できるようにする。</p>
総合的な学習の時間	<p>○体験的な活動に興味・関心をもって参加したり、調べたりしようとしている。</p> <p>○報告したり発表したりすることに少しずつ慣れてきた。</p>	<p>○体験的な活動を通して個々の課題を見つけ、探求的に学習を進めていけるよう、学習内容や取り組み方を工夫する。</p> <p>○学習のまとめとして発表会を設けるなど、表現活動を大切にしながら取り組む。</p> <p>○ポスターやスライドなど様々な発表形態を体験させる。</p>

外国語活動	○すすんで活動している児童が多い。外国語を楽しみにしている児童も多い。	○児童にとって分かりやすい教材を扱うようにし関心意欲を高めていく。 ○ゲームなどを通して、表現に親しませていく。日頃から意図的に表現を入れて、なじませていく。 ○外国語での交流に抵抗のある児童も安心して取り組めるようタブレットを活用していく。
-------	-------------------------------------	---